

【令和8年度学校アクションプラン】(学校の教育目標について重点化して取り組むこと)

重点項目	【心】「きれいな心の子」…感謝と思いやりの心をもつ子
重点課題	◆挨拶運動の推進(温かい人間関係づくり)
具体目標	自分から進んで友達や教師に挨拶ができる児童が85%以上
方策	<p>○挨拶運動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内に気持ちのよい挨拶を広めるための方法や挨拶の意義について、各学級や代表委員会で話し合い、企画委員会を中心とした挨拶運動に生かす。また、学校と地域で連携を図りながら、地域の方々にも挨拶運動に参加していただき、挨拶を広める。 ・「挨拶パワーアップ週間」を設定し、挨拶レベルを基に「挨拶カード」に個々の目標を立て、自分の挨拶を振り返ったり、挨拶の上手な児童や学年を全校に紹介したりするなどして、挨拶への実践意欲を高める。 <p>○学級での活動と関連を図った取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人関係ゲームを用いた活動を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。 <p>○挨拶に対する意識の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供同士や教師からの何気ない挨拶(声のかけ合い、賞賛等)が好ましい人間関係づくりの第一歩と考え、道徳科での学習とも連携し、朝の会・帰りの会、授業の始め・終わりの挨拶や返事をしっかりとすることが大切であることを伝えていく。 ・「挨拶の木」や「挨拶シール」、「挨拶標語の募集」等を行うことで、挨拶を意識付けする。

重点項目	【知】「大きな夢もつ子」……………目標をもって進んで学ぶ子
重点課題	◆読書活動の推進
具体目標	進んで本を読むことができた児童が80%以上
方策	<p>○学期ごとの目標冊数を設定し、読書活動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年15冊、中学年12冊、高学年10冊を目標とし、目標冊数の本を借りて読むことに挑戦する。 <p>○読書活動を推進するための取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級ごとに図書館司書による読み聞かせを行ったり、昼休みに図書室で読み聞かせの時間を設けたりして、本に親しむ機会をもつ。 ・【読んだよ!シールボード】学級文庫にある本のタイトルを一覧にし、読んだ児童がシールを貼っていくことで、どの本が読まれているかを把握し、子供同士の交流や話題づくりに活用する。 ・【図書系の活用】学級文庫の30冊のうち、10冊を各学級の図書係が選び(低学年は司書が選ぶ)、毎月交換していくことで児童が興味をもつ本を揃えていく。 ・【読書ビンゴ】秋の読書週間では、マスに分類番号が書いてあるビンゴシートを活用し、様々な種類の本に親しむことができるようにする。

重点項目	【体】「笑顔いっぱいの子」……………元気でたくましい体をもつ子
重点課題	◆望ましい生活習慣の育成
具体目標	運動と望ましい姿勢の、学期ごとの目標点数達成率が90%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでチャレンジ3015立山編・富山湾編」を、本校独自に利用する。 ・朝の活動に6色リレーやラジオ体操、大縄跳び等を取り入れる。また、「なわとびカード」を利用し、日頃から進んで技能を高めようとする意欲につなげる。 ・保健委員会、体育委員会、給食委員会、図書委員会、環境委員会等、各委員会の児童が、自分たちの担当に関わる学校生活の中で、望ましい姿勢を呼び掛ける。 ・「チャレンジ3015」の運動例を参考に、環境や条件に合った運動を選んだり考えたりすることで、限られた条件の中でも工夫して運動に取り組むことができるようにする。 ・一日の流れに「3015チェックタイム」を設け、運動について振り返る時間を取る。色塗り、シール貼り等で「チャレンジ3015」に記録し、自分がどれだけ運動に親しんでいるか、意識できるようにする。

